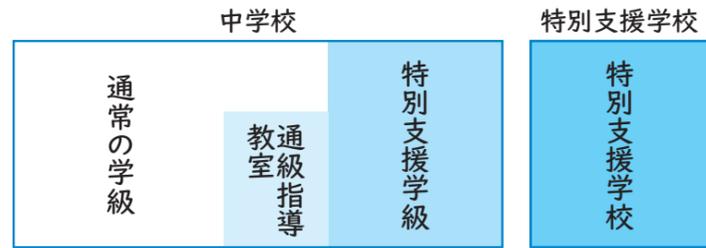


おこさまを支える多様な学びの場があります！

教育的ニーズに応じた学びの場があります。



おこさまの教育的ニーズに応じて検討します

※学びの場の見直しについては、在籍校へご相談ください。

【特別支援学級】

障がい種別の少人数学級です。特別支援学級で多くの時間学ぶ必要があるこどもが利用できます。

【通級指導教室】

通常の学級に在籍し、週1回程度、自校または他校で指導を受けます。
※市内9校に設置 (R6.5.1現在)

※学校ごとに、設置している特別支援学級の学級種が異なります。

園や学校と保護者、関係機関等がしっかりとつながり、ともにこどもたちを支えましょう。

～切れ目ない一貫した支援のために～

園や学校と保護者が協力して「個別の教育支援計画」や「移行支援シート」等を作成し、おこさまに合った効果的な支援を就学先・進学先へ引き継ぎます。



移行支援シート及び特別支援教育についてのQ&Aはこちらから閲覧できます。



お気軽にご相談ください



●一人で悩まないで、相談してみましょう。

おこさまの発達等にかかわる熊本市の主な相談機関 ※令和7年1月時点の相談機関名

発達や就学、不登校等に関すること (年長児から)	熊本市教育委員会 総合支援課 教育相談室 (こどもセンター あいぱるくまもと2階)	☎ 096-362-7070
18歳までのこどもの発達に関すること	熊本市こども発達支援センター (ウェルパルクまもと2階)	☎ 096-366-8240 FAX 096-366-8260
発達障がいに関すること	熊本市発達障がい者支援センター みなわ (ウェルパルクまもと2階)	☎ 096-366-1919 FAX 096-366-1900
学校教育に関するあらゆる相談	学校教育コンシェルジュ (こどもセンター あいぱるくまもと2階)	☎ 096-362-7171
こどもの権利に関する相談	熊本市こどもの権利サポートセンター こどもホットライン (ウェルパルクまもと2階)	☎ 0120-273-070 (こども専用無料) ☎ 070-3367-9330 (大人の方用)
ひきこもりに関する相談 (おおむね10代～)	熊本市ひきこもり支援センター「りんく」 (ウェルパルクまもと3階)	☎ 096-366-2220
こどもの養育、非行や虐待等に関すること	熊本市児童相談所 (こどもセンター あいぱるくまもと3階)	☎ 096-366-8181
特別支援教育全般に関すること	熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教育室	☎ 096-328-2743 FAX 096-323-8355
身体障害者手帳・療育手帳等福祉制度の相談に関すること	各区役所の福祉課へお問い合わせください。	

熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教育室
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

☎ 096-328-2743
FAX 096-323-8355

特別支援教育 家庭・地域啓発リーフレット

中学校版

こども一人一人の理解と支援のために

～ともに支える特別支援教育をめざして～



特別支援教育とは…

障がいのあるこどもを含め、特別な配慮を必要とするこども一人一人の教育的ニーズを把握して、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

熊本市教育委員会

適切な対応で子どもを伸ばしていきましょう。

おこさまの学校生活、学習、将来の進路などで気になるときは…

まずは、学校へご相談ください。

学校の相談窓口

- 学級担任
- 特別支援教育コーディネーター
(担任の支援や関係機関との連携を中心に行う職員)
- 学年主任や養護教諭
- 教頭 など



例えば、こんなことはありませんか？

- 読む、書く、話す、聞く、計算する等、いずれかの場面で困っている。
- スケジュールの変更を気にしたり、環境が変わると落ち着かなかつたりする。
- 約束やルールを理解していないとすることがある。
- 友だちとうまくかかわることが苦手である。
- 相手の気持ちに気付かない。 …など



おこさまにこのような特徴がいくつかあてはまると、学校において特別な配慮や支援が必要な場合があります。

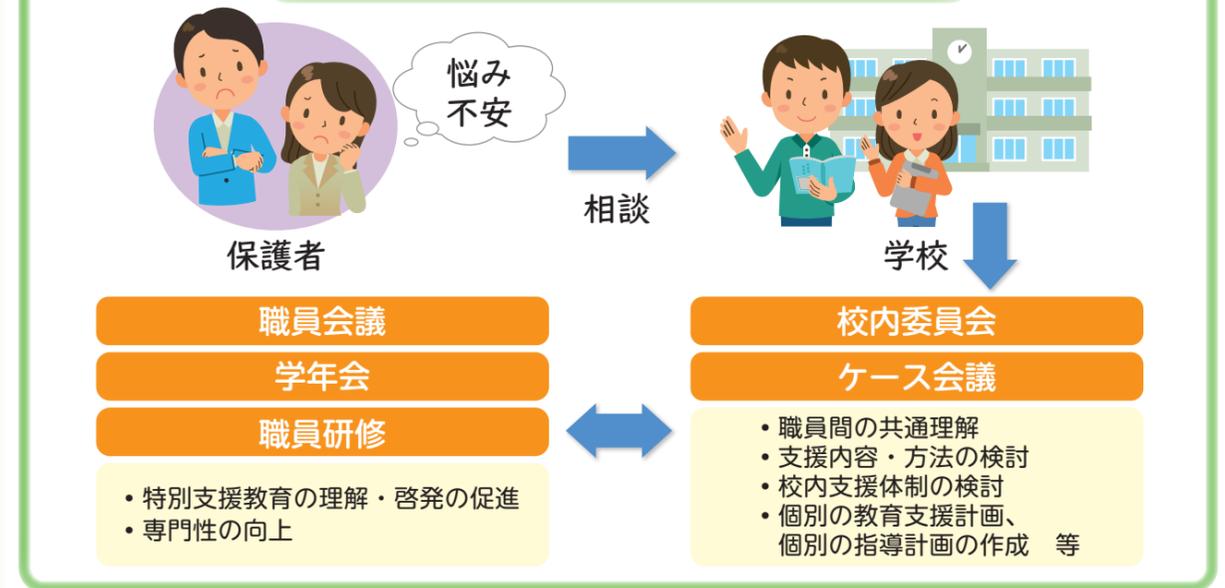
まず、こどもの気持ちや行動の理由を理解し、適切な対応で自信や意欲を育てていきましょう。

こどもが困っていることに気づかず、不適切な対応による失敗経験が重なると、二次障がいが見られることもあります。こどもの気持ちや行動の理由を理解し、支援者間で適切な支援方法を見つけていきましょう。成功体験を積み重ねることで、学習や生活への自信が付き、こどもの学校生活の充実につながります。



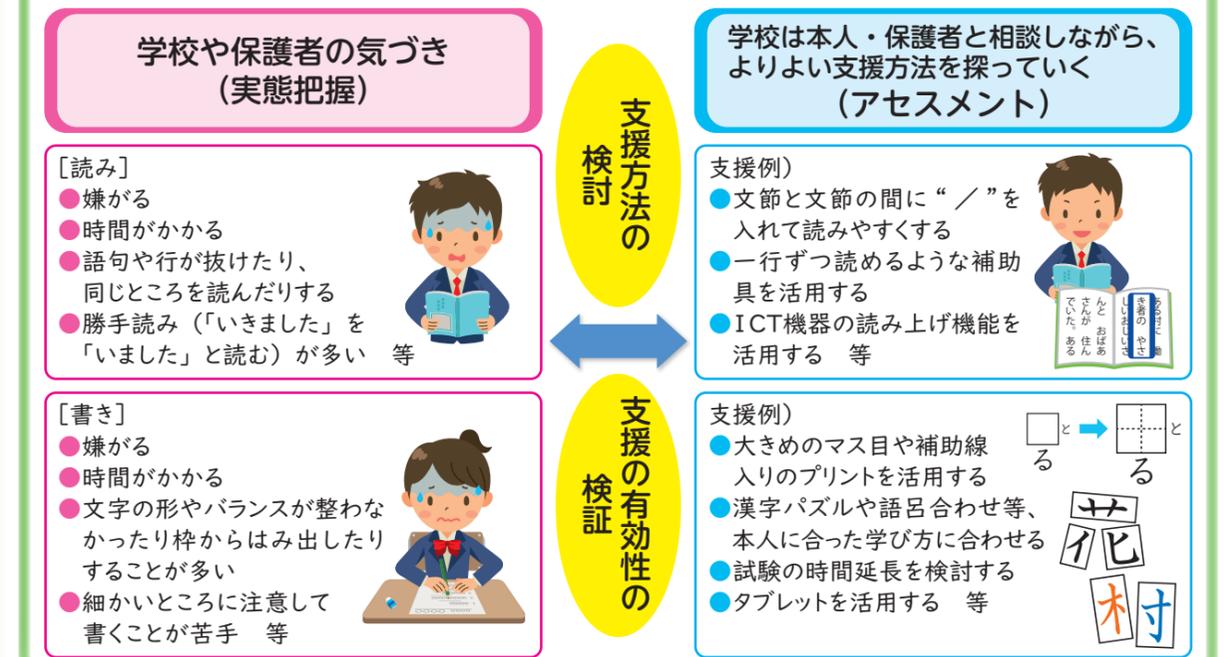
通常の学級を含め学校全体で、特別支援教育を推進しています。

中学校における校内支援体制



丁寧な実態把握を行い、アセスメントをします。

例) 読み書きが苦手な子どもへの支援



学校ではこんなことに配慮しています。(支援例)

